

平成18年
産技研の利用に関する調査
アウトカム評価報告書



平成19年6月

はじめに

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターは、平成18年4月に全国の地方公設試験研究機関では初めて地方独立行政法人化し、1年が経過しました。この1年で、多くの企業に利用していただきました。

今後も地方独立行政法人のスタンスを活かし、これまで以上に依頼試験、機器利用、共同研究など様々な事業を展開し、企業の皆様に支援してまいります。

より一層、産技研をご利用頂いている企業の皆様のお役に立てるよう、利用状況や要望・意見などを収集する「産技研の利用に関する調査」を実施しました。今回は、約2,300社の企業にアンケートを依頼し、543社から回答をいただきました。

調査の結果は、産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、大いに役立てていきます。

調査にご協力いただきました企業の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。
ありがとうございました。

平成19年6月

地方独立行政法人

東京都立産業技術研究センター

経営企画本部 経営企画室

目 次

1. 調査の概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査対象	1
1-3 調査内容	1
1-4 調査票の配布及び回収	2
2. 結 果	
2-1 産技研の利用状況	2
2-2 事業利用における成果の取得状況（アウトカム評価）	4
2-3 事業の利用目的	7
2-4 事業利用における目的の取得状況（アウトカム評価）	7
2-5 産技研利用による経済効果	11
2-6 産技研へのアクセス状況	13
2-7 職員の対応	14
2-8 今後の利用について	14
2-9 今後の各事業の利用意向	15
2-10 支援を希望する技術分野	16
2-11 産技研が改善すべき点	17
2-12 産技研のホームページの閲覧状況	18
2-13 産技研の新たな取り組み	18
2-14 調査企業の情報	22
3. 今後の産技研の取り組み	25
付 録 資 料	

1. 調査の概要

1-1 調査目的

東京都立産業技術研究センター（以下、「産技研」という。）の利用企業における事業の活用実態や支援ニーズ、利用満足度などを把握し、産技研の事業運営や支援方法等に必要な基礎データ取得のために実施する。

1-2 調査対象

平成18年4月1日から平成18年12月31日の間に、産技研の事業を利用した企業等の中から、個人情報の利用に同意いただいた企業約2,300社を今回の調査対象とした。

1-3 調査内容

(1) 産技研の利用状況

- ①利用開始時期
- ②利用事業および利用頻度、成果の取得状況
- ③利用目的および目的の達成状況
- ④産技研の利用による経済効果
- ⑤経済効果の発生源
- ⑥片道所要時間、交通手段、最も利用する事業所
- ⑦職員の対応への満足度

(2) 今後の利用意向

- ①今後の利用意向
- ②利用希望事業

(3) 産技研への要望

- ①今後、支援を希望する技術分野
- ②産技研の改善すべき点

(4) 情報提供について

- ①ホームページの閲覧状況

(5) 産技研の新たな取り組みについて

- ①利用料金の支払い方法について
 - ・利用料金の銀行振込とコンビニ支払いの認知度、利用状況、利用意向
- ②確定払いについて
 - ・確定払いの利用状況
- ③オーダーメイド試験・オーダーメイドセミナーについて
 - ・オーダーメイド試験の認知度、利用意向
 - ・オーダーメイドセミナーの認知度、利用意向

(6) 調査企業の情報

- ①業種 ②従業員数 ③資本金 ④売上高に占める研究開発費の割合
- ⑤回答者の役職

1-4 調査票の配布及び回収

配布方法：調査用紙の郵送及びメールニュースにて配布

回収方法：郵送、メール

回答数：543件（郵送 378件，メール 165件）

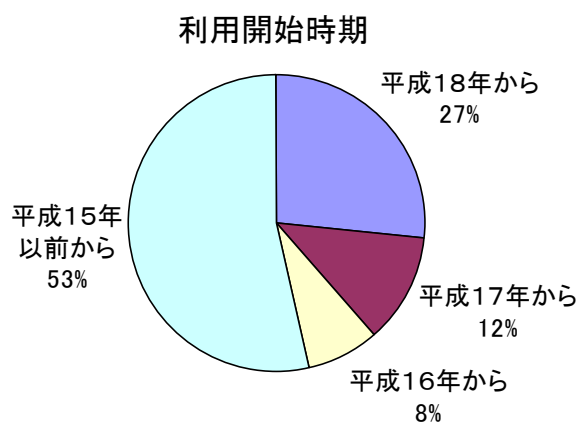
2. 結果

2-1 産技研の利用状況

①利用開始時期

産技研の利用開始時期では、「平成18年から」、「平成17年から」、「平成16年から」、「平成15年以前から」の4つの開始時期について調査し、534件の回答が寄せられた。

「平成15年以前から」が最も多く287社（53%）、ついで「平成18年から」は143社（27%）、「平成17年から」63社（12%）、「平成16年から」41社（8%）の順であった。産技研を長く利用している企業が多い。また、利用企業の4社に1社が新規利用者であり、新たに産技研を利用する企業が増えてきている。

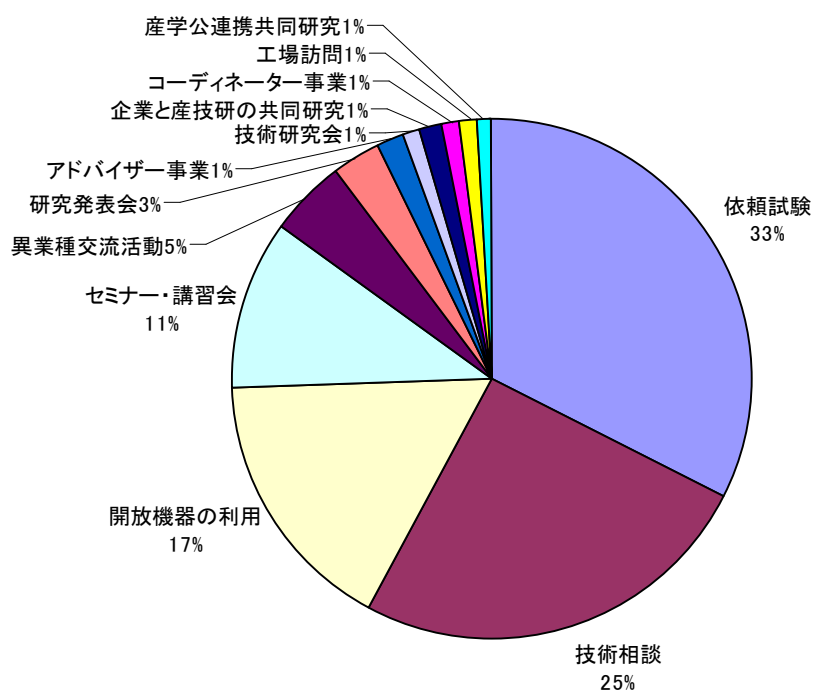


②事業の利用状況

事業の利用状況では、「依頼試験」、「技術相談」、「開放機器の使用」等の12事業について調査し、1,148件の回答が寄せられた。

「依頼試験」が最も多く374件（33%）、ついで「技術相談」289件（25%）、「開放機器の使用」191件（17%）、「セミナー・講習会」123件（11%）と続き、この上位4事業の合計は977件で、利用事業に関する全回答数1,148件（複数回答可）の85%を占めた。上位4事業の順位は昨年と同様になり、割合は昨年よりも12%増加した。

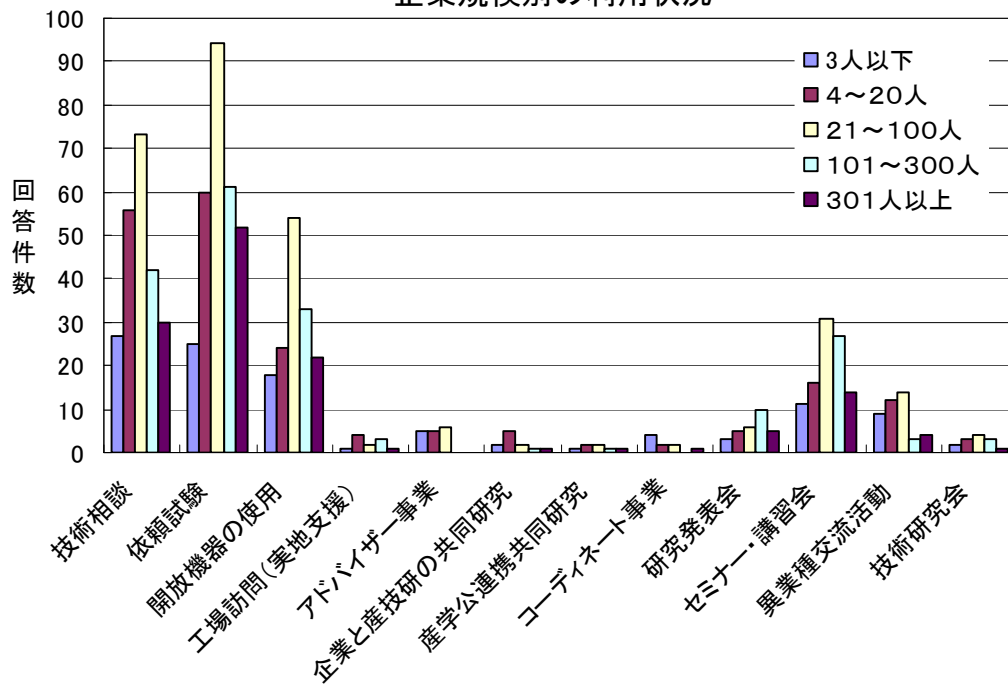
利用した産技研の事業



③企業規模別の利用状況

企業規模別の利用状況を見ると、各事業はほぼ同じ分布を示した。これは昨年と同様の傾向である。また、4人～100人規模の企業が多く、産技研の主要顧客層であることを示している。この点は昨年と同様であるが、今年は101人～300人規模の企業の利用が増加している。

企業規模別の利用状況



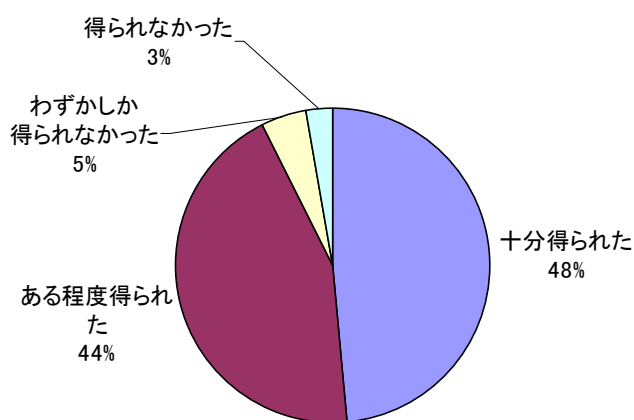
2-2 事業利用における成果の取得状況（アウトカム評価）

①事業利用における成果のアウトカム評価

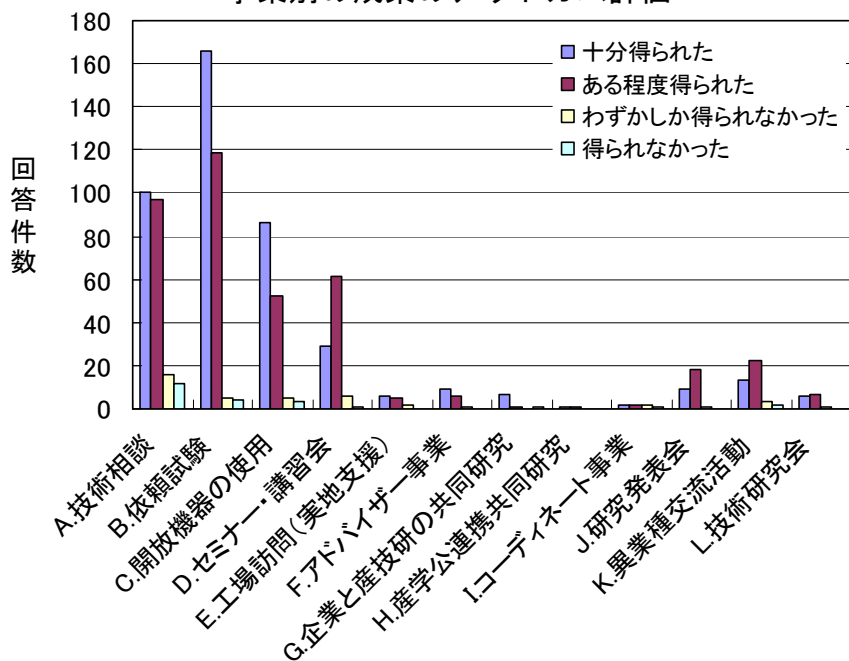
成果のアウトカム評価では、「十分得られた」、「ある程度得られた」、「わずかしかが得られなかった」、「得られなかった」の4段階について調査し、891件の回答が寄せられた。

「十分得られた」が434件（48%）、「ある程度得られた」391件（44%）、「わずかしかが得られなかった」42件（5%）、「得られなかった」24件（3%）となった。「十分得られた」と「ある程度得られた」を合わせると825件（92%）となり、成果を収めている。

事業利用による成果のアウトカム評価（全体）



事業別の成果のアウトカム評価

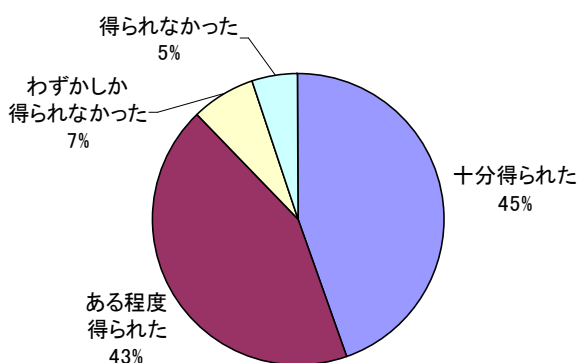


②事業別の成果の取得状況（アウトカム評価）

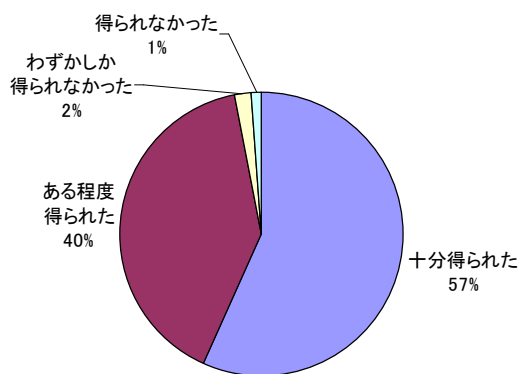
成果のアウトカム評価を各事業別に集計した。

産技研の事業のうち「利用した」との回答件数の多い上位4事業について、成果が「十分得られた」と「ある程度得られた」を合わせた割合は、「技術相談」88%、「依頼試験」97%、「開放機器の使用」95%、「セミナー・講習会」93%となり、成果が得られたとする回答が高い比率で寄せられた。

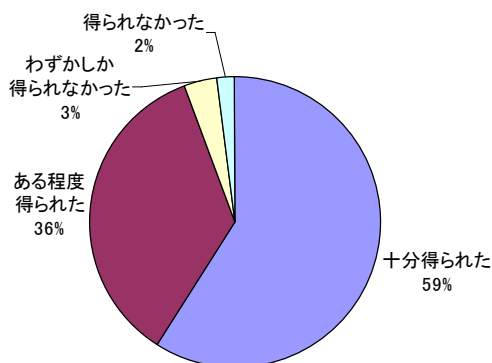
A.技術相談



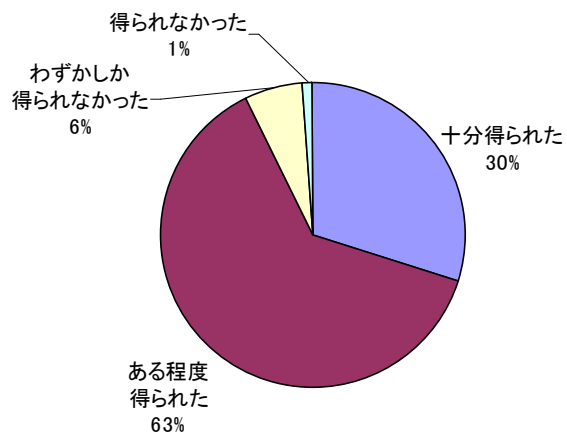
B.依頼試験



C.開放機器の利用

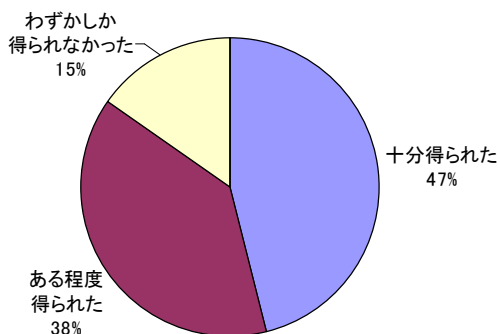


D.セミナー・講習会

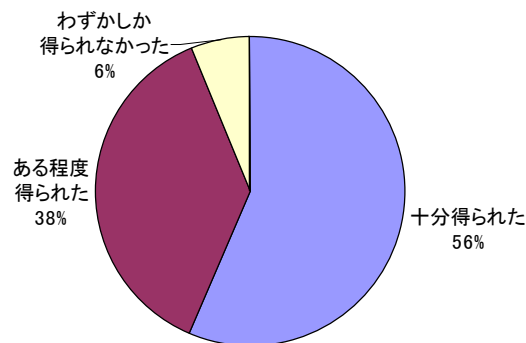


その他の結果は次の通りである。

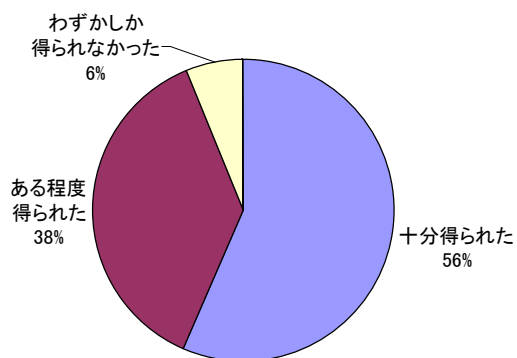
E.工場訪問（実地支援）



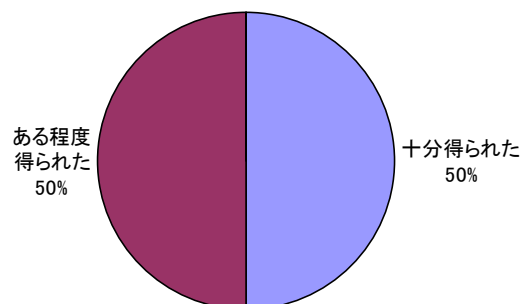
F.アドバイザー事業



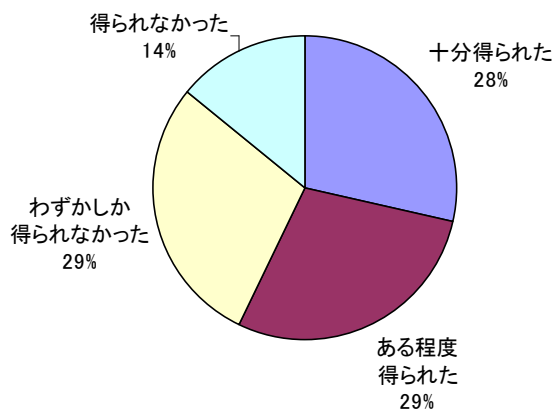
G. 企業と産技研の共同研究



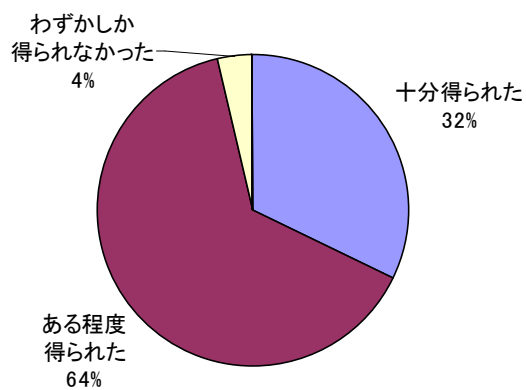
H. 産学公連携共同研究



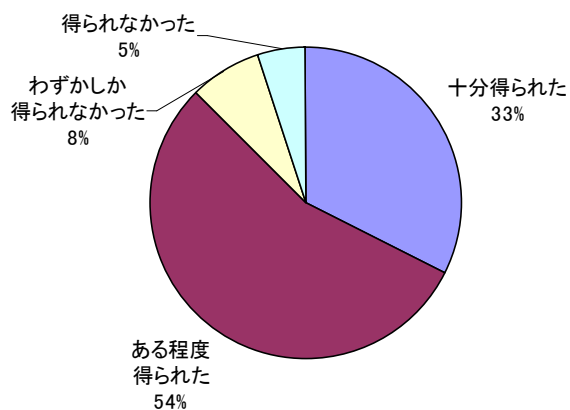
I. コーディネーター事業



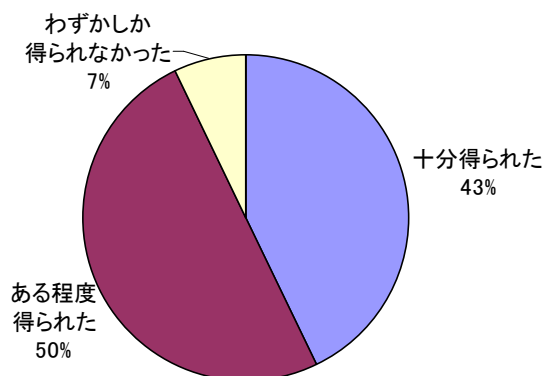
J. 研究発表会



K. 異業種交流活動



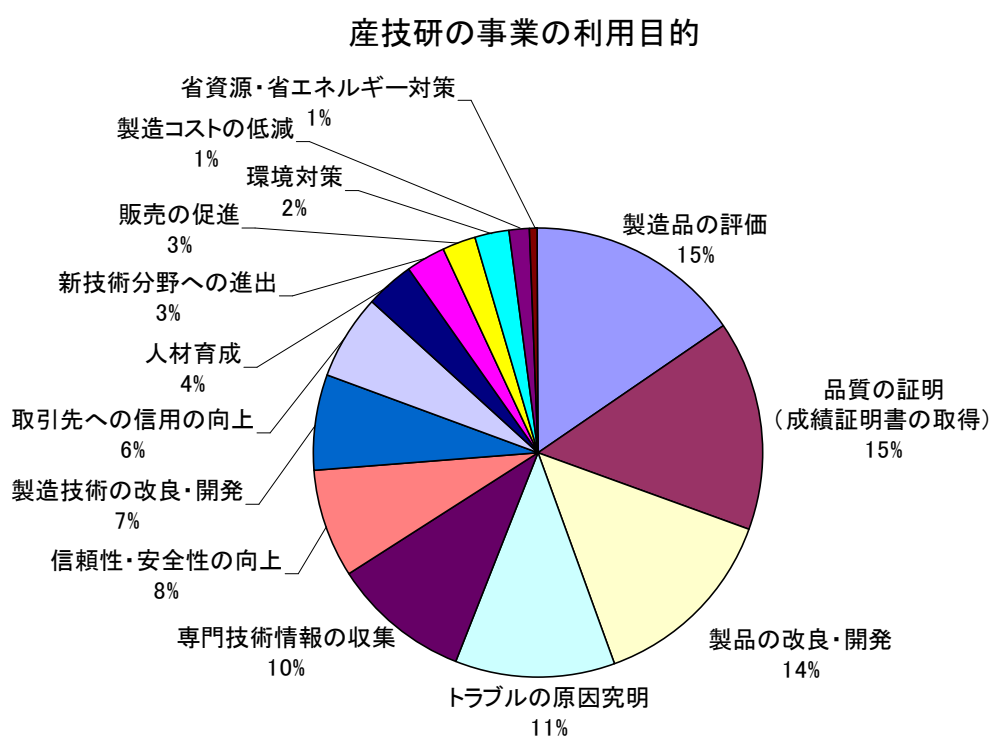
L. 技術研究会



2-3 事業の利用目的

産技研の事業を利用する目的では、「製造品の評価」、「品質の証明（成績証明書の取得）」、「製品の改良・開発」等の14の目的について調査し、1,271件の回答が寄せられた。

「製造品の評価」197件（15%）、「品質の証明（成績証明書の取得）」が193件（15%）、「製品の改良・開発」175件（14%）、「トラブルの原因究明」145件（11%）の順であった。この上位4項目で710件（全体の55%）となった。「製造品の評価」と「品質の証明（成績証明書の取得）」を合わせると評価・証明関連事業が30%であり、産技研が公的証明機関として利用されていることが分かる。また、「製品の改良・開発」、「トラブルの原因究明」が続き、より良い製品開発のために利用されていることが分かる。



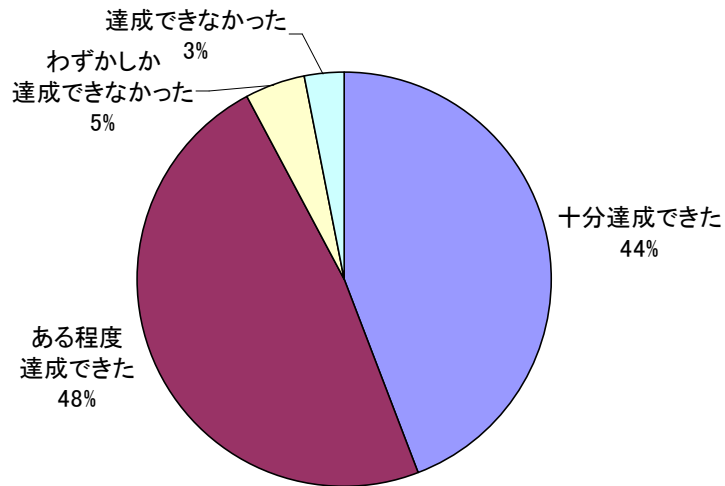
2-4 事業利用における目的の達成状況（アウトカム評価）

①全体の利用状況

産技研利用による目的の達成状況は、「十分達成できた」、「ある程度達成できた」、「わずかしか達成できなかった」、「達成できなかった」の4段階で調査し、1,271件の回答が寄せられた。

「十分達成できた」が563件（44%）、「ある程度達成できた」608件（48%）、「わずかしか達成できなかった」60件（5%）、「達成できなかった」40件（3%）であった。「十分達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせると1,171件（92%）であり、多くの企業が産技研の利用により、ほぼ目的を達成されている結果となった。

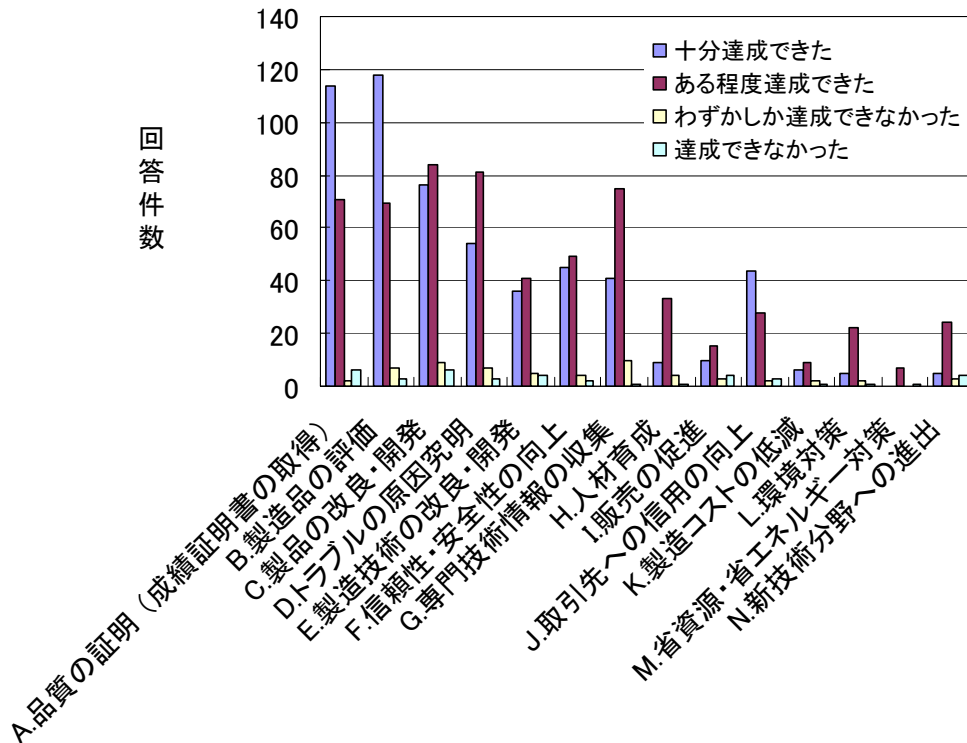
利用目的のアウトカム評価（全体）



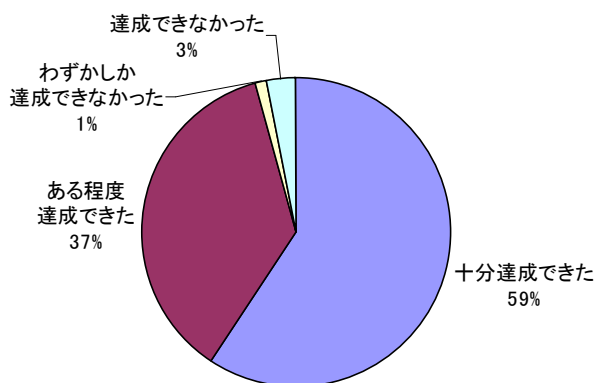
②各利用目的別のアウトカム評価

利用目的別のアウトカム評価を集計した。上位 4 項目について「十分達成できた」と「ある程度達成できた」を合わせた割合は、「品質の証明（成績証明書の取得）」96%、「製造品の評価」94%、「製品の改良・開発」92%、「トラブルの原因究明」93%と、一定の達成度が得られたとする回答が高い割合で寄せられた。

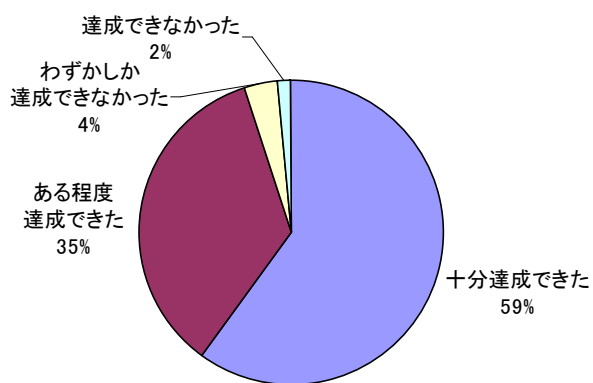
利用目的別のアウトカム評価



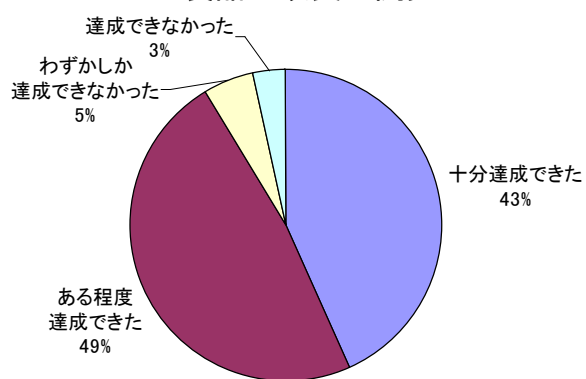
A.品質の証明（成績証明書の取得）



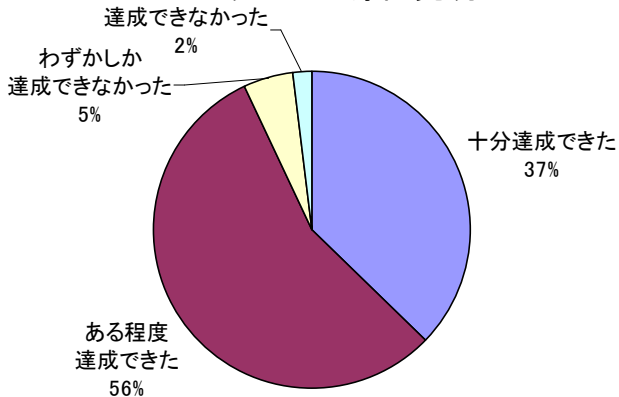
B.製造品の評価



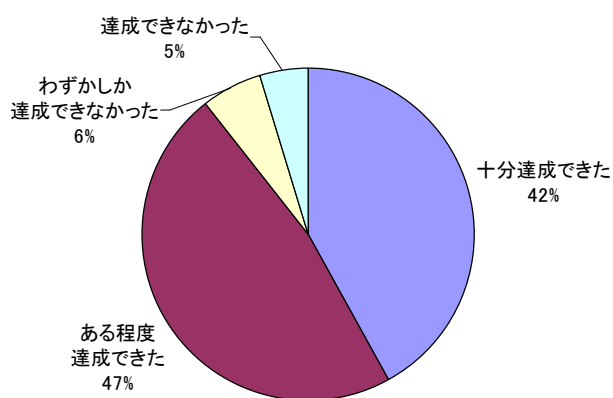
C.製品の改良・開発



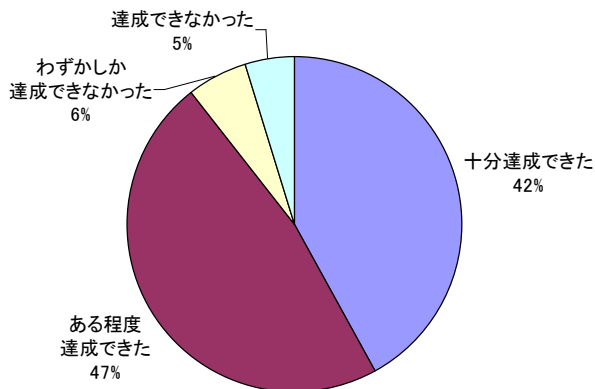
D.トラブルの原因究明



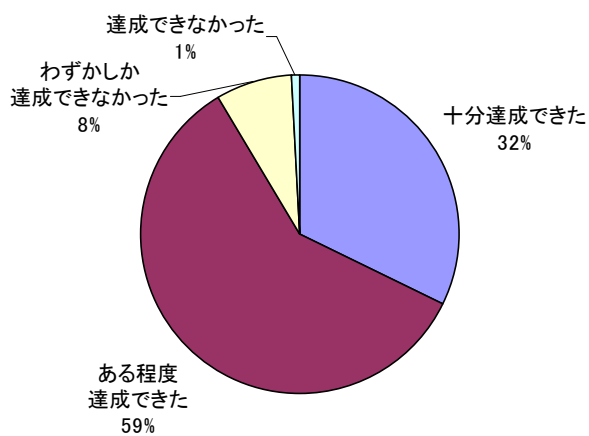
E.製造技術の改良・開発



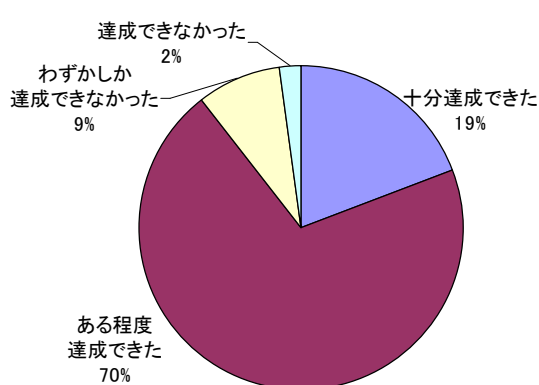
F.信頼性・安全性の向上



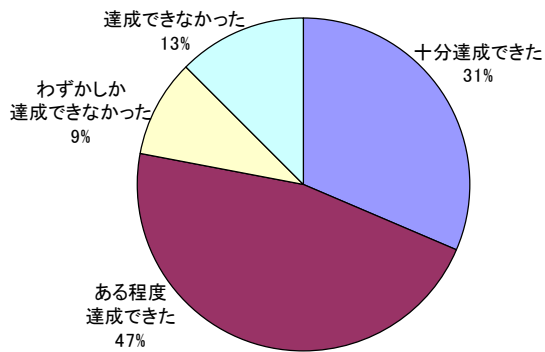
G.専門技術情報の収集



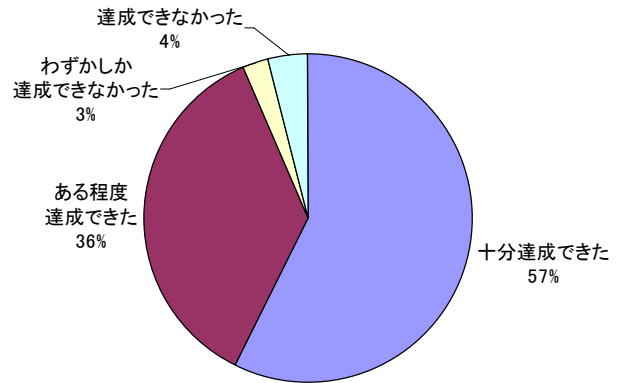
H.人材育成



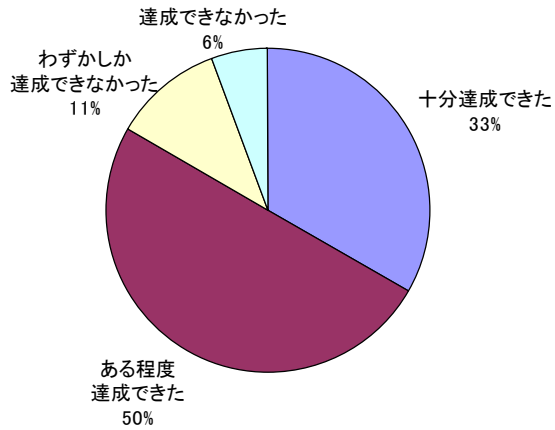
I. 販売の促進



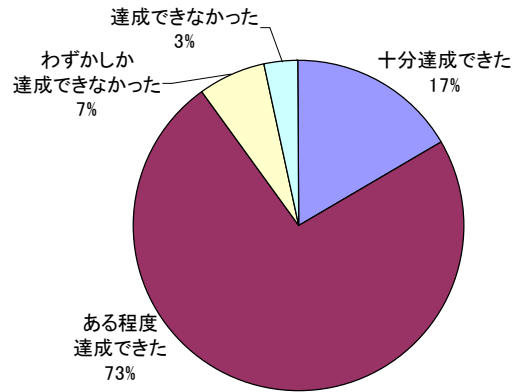
J. 取引先への信用の向上



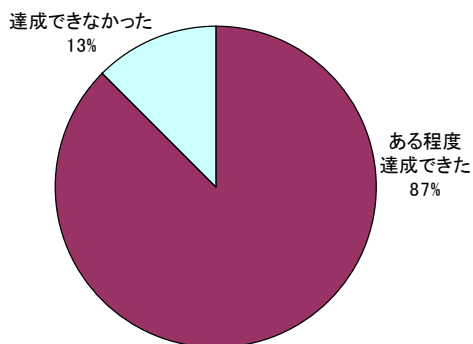
K. 製造コストの低減



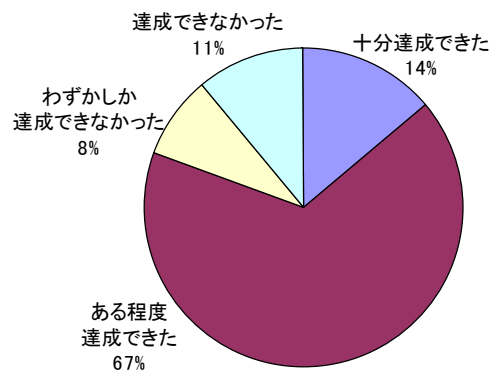
L. 環境対策



M. 省資源・省エネルギー対策



N. 新技術分野への進出



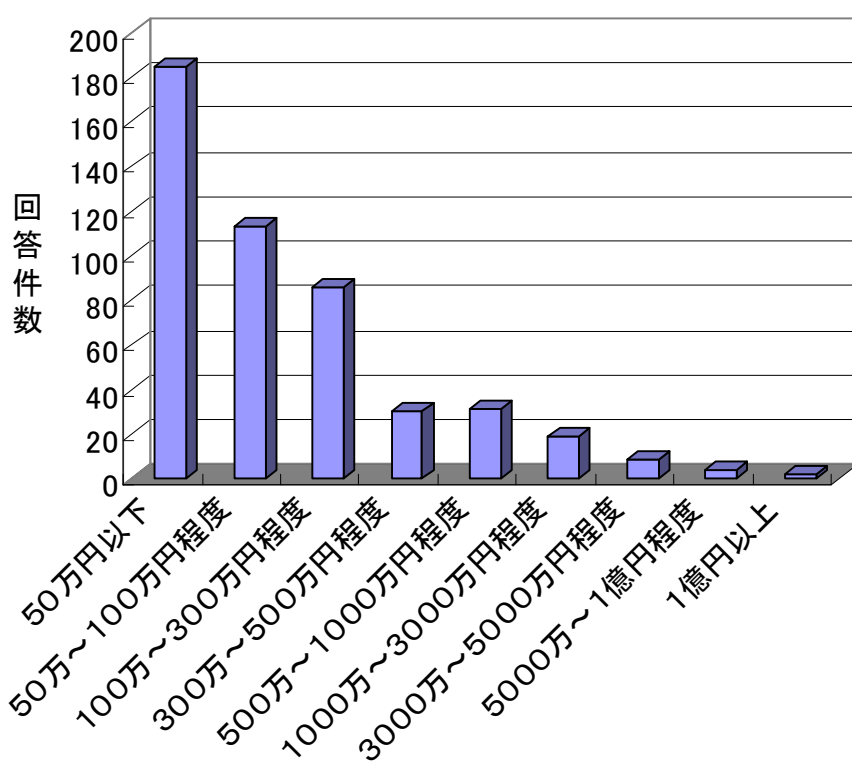
2-5 産技研利用による経済効果

①産技研の利用による経済効果

産技研を利用したことによる経済効果*（メリット）について、479件の回答が寄せられ、「50万円以下」が185件（39%）、「50万～100万円程度」113件（24%）、「100万～300万円程度」86件（18%）で、この3項目で384件（81%）の回答数を占めた。また、金額の高い順に見ると「1億円以上」2件、「5,000万～1億円程度」4件、「3,000万～5,000万円程度」9件、「1,000万～3,000万円程度」19件との回答が寄せられた。

* 産技研を利用することによって得られた効果を金額に換算した数値

産技研の利用による経済効果



②1企業あたりの経済効果の試算

この設問に回答された企業1企業あたりのメリットの金額換算額を、以下により算出した。

<試算>

「50万円以下」との回答は25万円、「50万～100万円程度」は75万円、以下各級の中央値を各級の金額とし、「1億円以上」は1億円としてメリットの金額換算額の総合計を算出した。

$$\begin{aligned} \text{総額} &= (25 \text{ 万円} \times 185 \text{ 件}) + (75 \text{ 万円} \times 113 \text{ 件}) + (200 \text{ 万円} \times 86 \text{ 件}) \\ &+ (400 \text{ 万円} \times 30 \text{ 件}) + (750 \text{ 万円} \times 31 \text{ 件}) + (2,000 \text{ 万円} \times 19 \text{ 件}) \\ &+ (4,000 \text{ 万円} \times 9 \text{ 件}) + (7,500 \text{ 万円} \times 4 \text{ 件}) + (10,000 \text{ 万円} \times 2 \text{ 件}) \\ &= 189,550 \text{ 万円} \end{aligned}$$

回答企業 1 企業あたりのメリットの金銭換算額は

$$\text{平均換算額} = 189,550 \text{ 万円} \div 479 \text{ 社} = 396 \text{ 万円} / 1 \text{ 企業}$$

③利用企業全体の経済効果

<試算>

上で得られた回答企業 1 企業あたりのメリットの金銭換算額をもとに、産技研利用企業全体のメリットの金銭換算総額を算出した。

平成 18 年度に産技研のデータベースに登録された 6,681 社をこの期間（1 年間）の産技研利用企業数とみなし、回答企業 1 企業あたりのメリットの金銭換算額を乗じて 1 年間の利用企業への経済効果として試算した。

$$396 \text{ 万円} \times 6,681 \text{ 企業} = 2,645,676 \text{ 万円}$$

産技研利用企業全体のメリットの金銭換算総額の推計

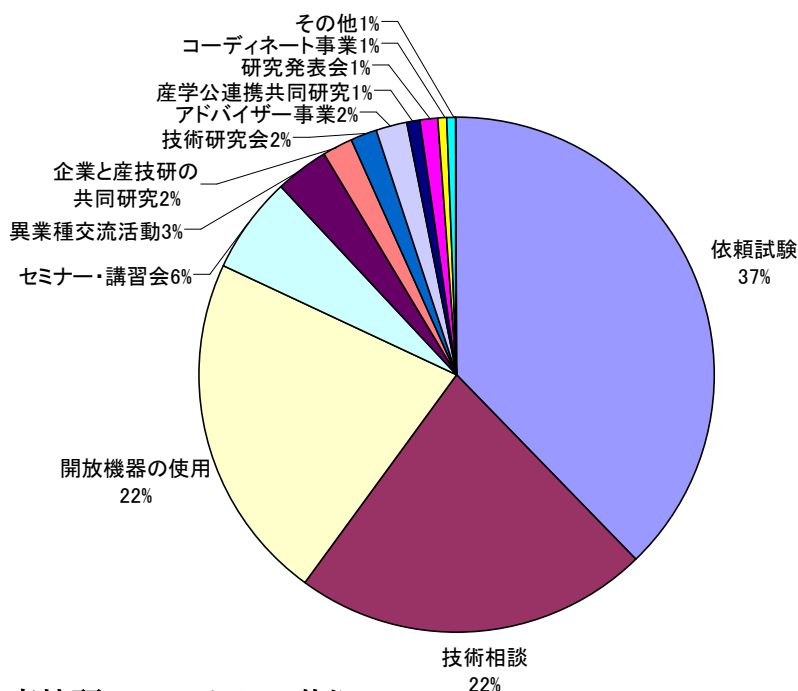
265 億円

試算の結果、利用企業全体でのメリットの金銭換算総額の推計値は、約 265 億円となった。この金額は、昨年（258 億円）、一昨年（222 億円）を上回り、年々、金額が上昇している。

④経済効果の発生源となる事業

また、この経済効果がどの事業によるものかは、696 件（複数回答可）の回答があり、「依頼試験」262 件（37%）、「技術相談」155 件（22%）、「開放機器の使用」153 件（22%）、「セミナー・講習会」42 件（6%）の順であった。

経済効果の発生源となる事業



2-6 産技研へのアクセス状況

①片道所要時間

産技研を利用する際の、片道所要時間は「1時間以内」が238件（44%）と最も多く、続いて「2時間以内」160件（30%）、「30分以内」108件（20%）であった。

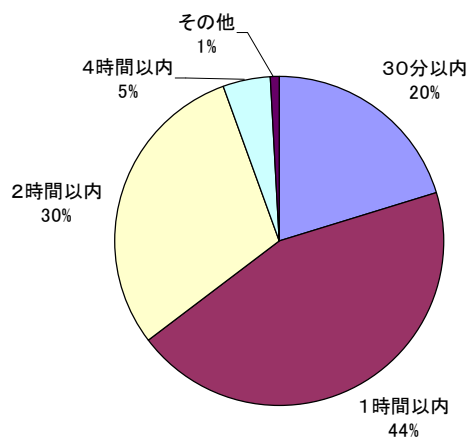
②交通手段

交通手段では、「公共交通機関」の利用が331件（63%）であった。「自家用車・社用車」の利用が198件（37%）であった。

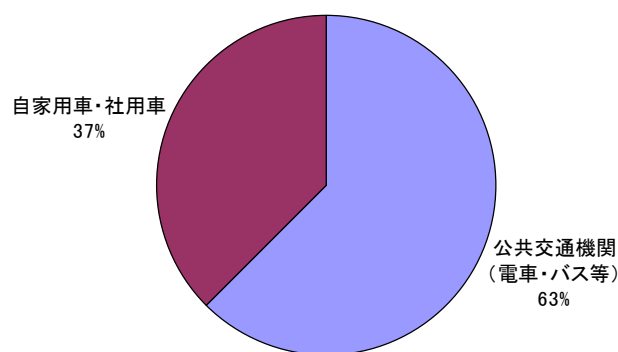
③事業所の利用状況

産技研の事業所の利用状況は、「西が丘本部」が399件（73%）、「城南支所」34件（6%）、「墨田支所」33件（6%）、「八王子支所」33件（6%）、「城東支所」22件（4%）、「多摩支所」16件（3%）、「駒沢支所」12件（2%）であった。

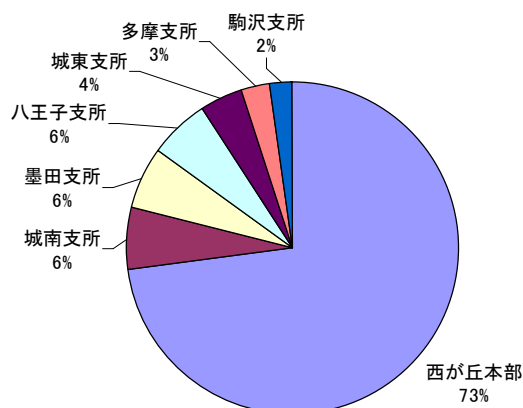
片道所要時間



交通手段



最も利用する事業所



2-7 職員の対応

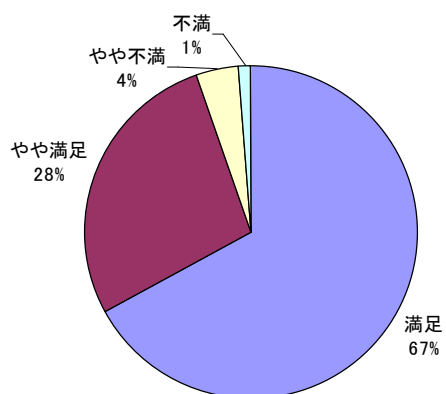
産技研の職員の対応では、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」の4段階について調査し、509件の回答が寄せられた。

「満足」と「やや満足」を合わせて95%（482件）の回答があった。特に「満足」の割合が昨年の51%と比較して、大きく増えている。また、「やや不満」と「不満」を合わせた回答は5%（27件）であった。

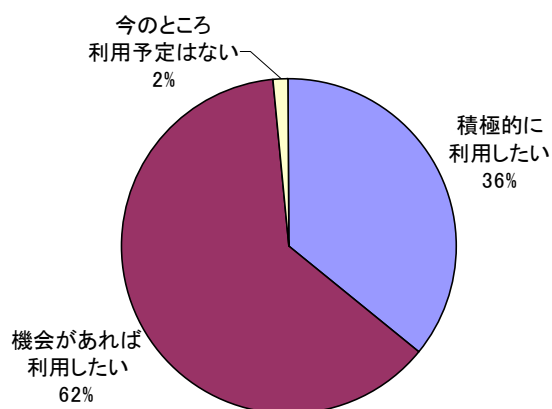
2-8 今後の利用について

今後の産技研の利用意向について、531件の回答が寄せられた。「積極的に利用したい」と考えている企業が190件（38%）、「機会があれば利用したい」333件（62%）、「今のところ利用予定はない」8件（2%）であった。「積極的に利用したい」と「機会があれば利用したい」を合わせると98%となり、引き続き、産技研を利用したいという意見がほとんどであった。

職員の対応



今後の利用意向

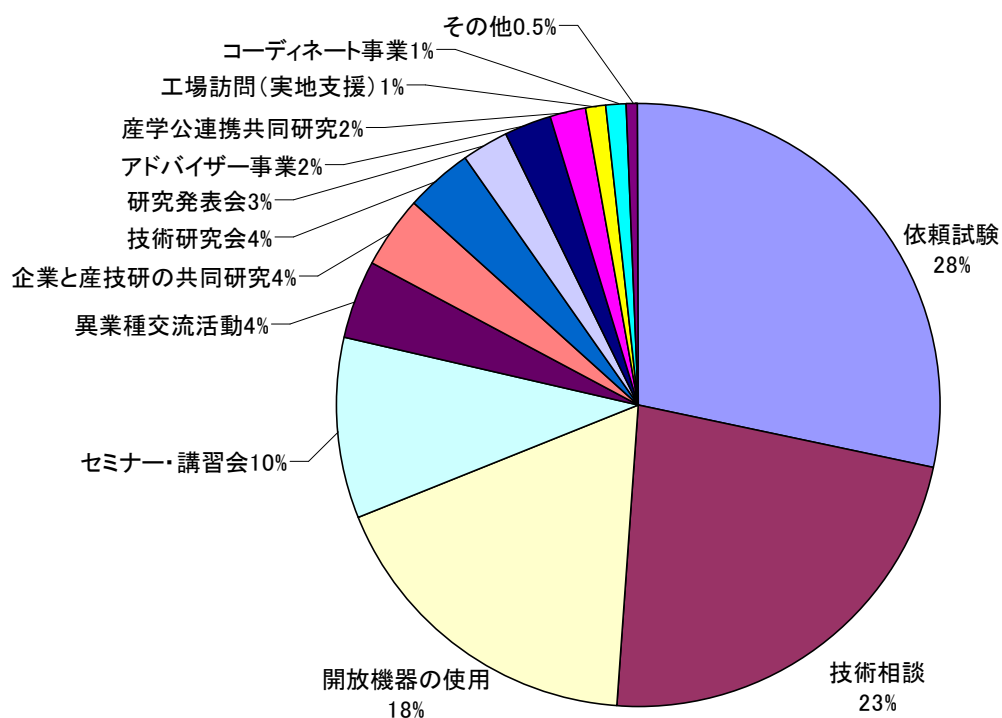


2-9 今後の各事業の利用意向

今後、産技研の各事業についての利用意向は、1,302件（複数回答可）の回答が寄せられた。「依頼試験」が368件（28%）、「技術相談」296件（23%）、「開放機器の使用」234件（18%）、「セミナー・講習会」127件（10%）の順となり、この上位4項目で79%を占めた。この上位4項目は、今年の利用状況の上位4項目と同じであり、引き続き産技研の同じ事業利用を希望している。

また、「異業種交流活動」、「企業と産技研の共同研究」、「技術研究会」の利用意向も多く、企業は企業間の連携および企業と産技研との連携を期待している。

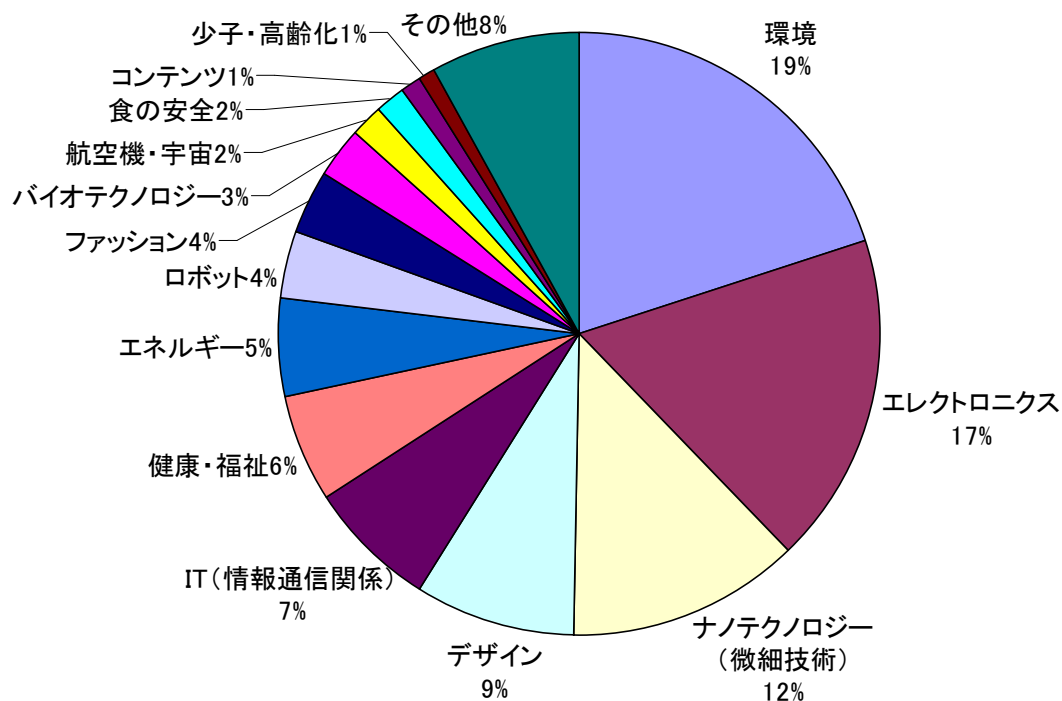
今後の各事業の利用意向



2-10 支援を希望する技術分野

企業が産技研に支援を希望する技術分野については、741件（複数回答可）の回答が寄せられた。「環境」149件（19%）、「エレクトロニクス」130件（17%）、「ナノテクノロジー（微細技術）」93件（12%）、「デザイン」65件（9%）の順となり、この上位4分野で全体の57%を占めた。その他、要望する技術分野の意見としては、品質管理、建築資材、金属表面関連技術、素材関連技術、医療関連製品、光関連技術、鉄道・道路、防災、などであった。

産技研に支援を希望する技術分野



2-1-1 産技研が改善すべき点

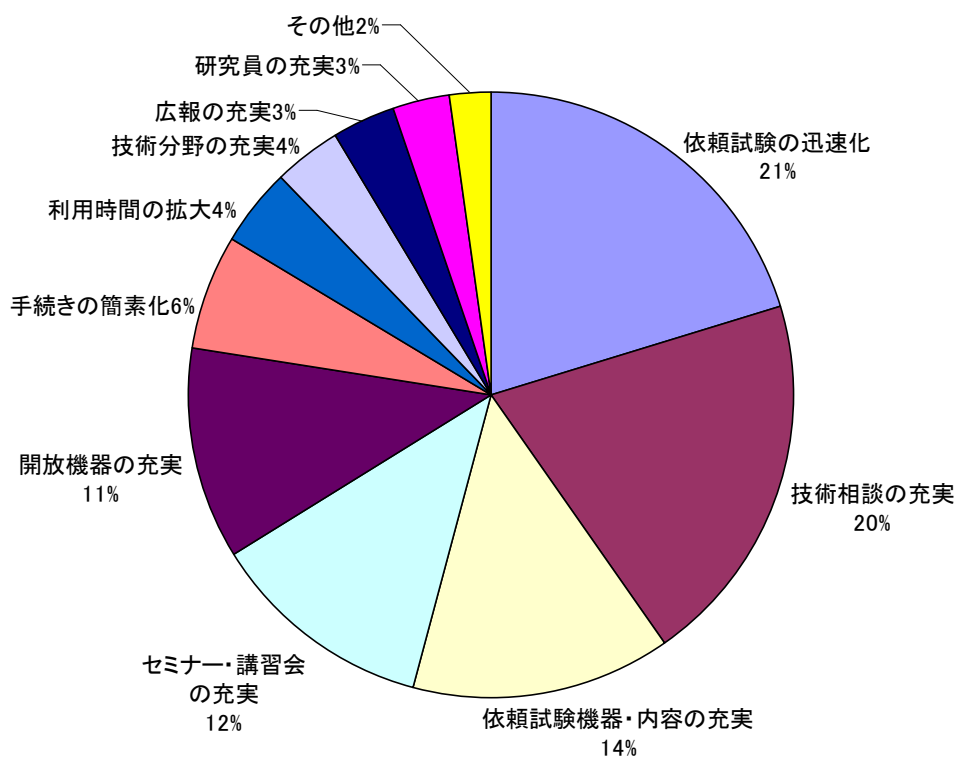
産技研が改善すべき点について、823件（複数回答可）の回答が寄せられた。

依頼試験・開放機器事業については、「依頼試験の迅速化」166件（21%）、「開放機器の充実」94件（11%）、「手続きの簡素化」49件（6%）、「依頼試験機器・内容の充実」114件（14%）、「利用時間の拡大」36件（4%）、となった。

技術の充実としては、「技術相談の充実」165件（20%）、「セミナー・講習会の充実」99件（12%）、「研究員の充実」26件（3%）、「技術分野の充実」29件（4%）となった。

特に、「手続きの簡素化」の割合については、昨年の146件（11%）から大きく減少し、今年、49件（6%）になっている。

産技研が改善すべき点

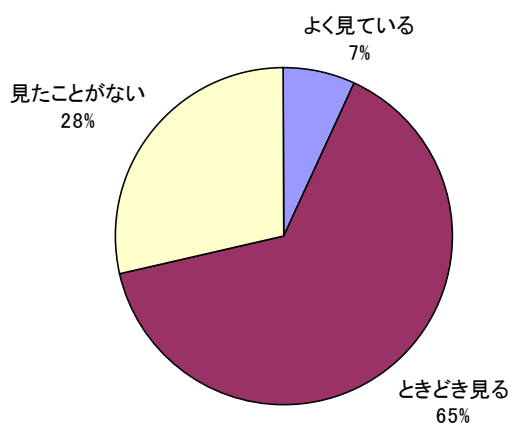


2-1-2 産技研のホームページの閲覧状況

産技研のホームページの閲覧状況では、「よく見ている」、「ときどき見る」、「見たことはない」の3段階について調査し、523件の回答が寄せられた。

「よく見ている」36件（7%）、「ときどき見る」338件（65%）、「見たことはない」149件（28%）であり、昨年と同様の結果であった。回答の中には、「過去の資料が多数掲載されている」、「調べたい内容がすぐに分かる」といった声が寄せられた。また、「ホームページ上から依頼試験や開放機器利用の予約が取れば良い」、「各支所の活動を具体的に紹介すると良い」といった声も寄せられている。

産技研のホームページの閲覧状況



2-1-3 産技研の新たな取り組み

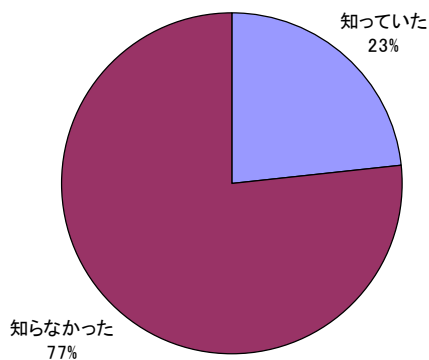
①依頼試験等料金の支払方法について

- ・銀行振込、コンビニでの支払いについての認知度

銀行振込、コンビニでの支払いについての認知度について、528件の回答が寄せられた。

「知っていた」123件（23%）、「知らなかった」405件（77%）であった。

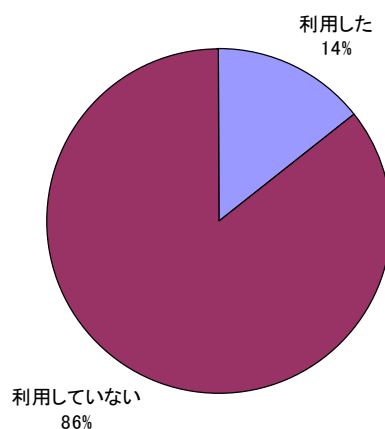
銀行振込、コンビニでの支払いについての認知度



・銀行振込、コンビニでの支払いについての利用状況

銀行振込、コンビニでの支払いについての利用状況について、518件の回答が寄せられた。「利用した」75件（14%）、「利用していない」443件（86%）であった。

銀行振込、コンビニでの支払いについての利用状況

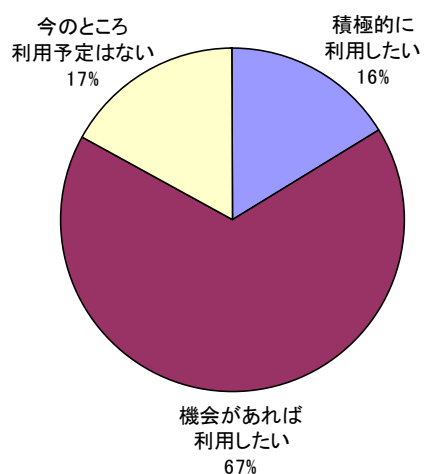


・今後の、銀行振込、コンビニでの支払いについての利用意向

今後の、銀行振込、コンビニでの支払いについての利用意向について、528件の回答が寄せられた。「積極的に利用したい」87件（16%）、「機会があれば利用したい」351件（67%）、「今のところ利用予定はない」90件（17%）であった。「積極的に利用したい」と、「機会があれば利用したい」を合わせると438件（83%）あり、需要があることが分かる。

銀行振込、コンビニでの支払いの他にも、クレジットカードによる支払いを希望する意見もあった。

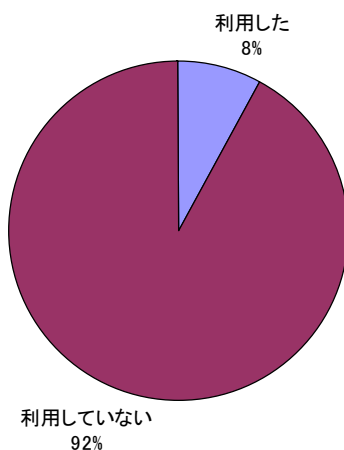
銀行振込、コンビニでの支払いについての利用意向



②確定払いについて

確定払いについての利用状況について、504件の回答が寄せられた。「利用した」41件（8%）、「利用していない」463件（92%）であった。

確定払いの利用状況



③オーダーメイド試験・オーダーメイドセミナーについて

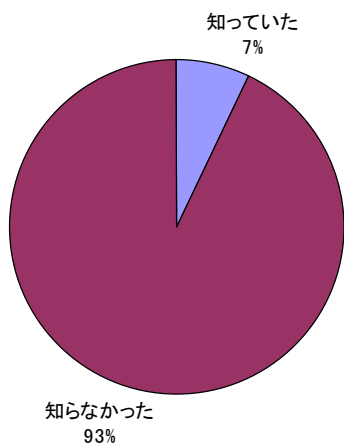
・オーダーメイド試験の認知度

オーダーメイド試験の認知度について、518件の回答が寄せられた。「知っていた」38件（7%）、「知らなかった」480件（93%）であった。

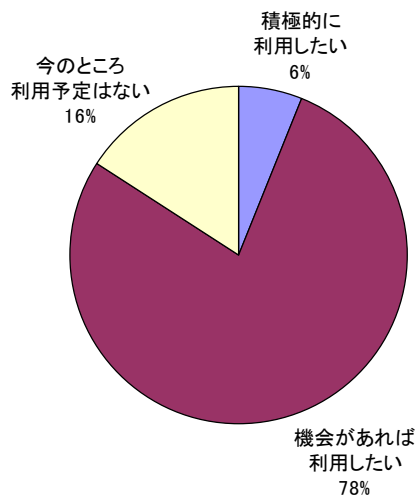
・今後のオーダーメイド試験の利用意向

今後のオーダーメイド試験の利用意向について、515件の回答が寄せられた。「積極的に利用したい」32件（6%）、「機会があれば利用したい」401件（78%）、「今のところ利用予定はない」82件（16%）であった。84%の企業が利用する意向を示している。

オーダーメイド試験の認知度



オーダーメイド試験の利用意向



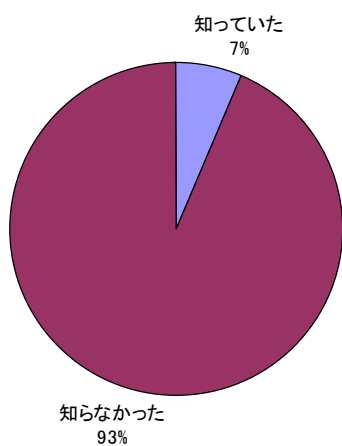
・オーダーメイドセミナーの認知度

オーダーメイドセミナーの認知度について、523件の回答が寄せられた。「知っていた」34件（7%）、「知らなかった」489件（93%）であった。

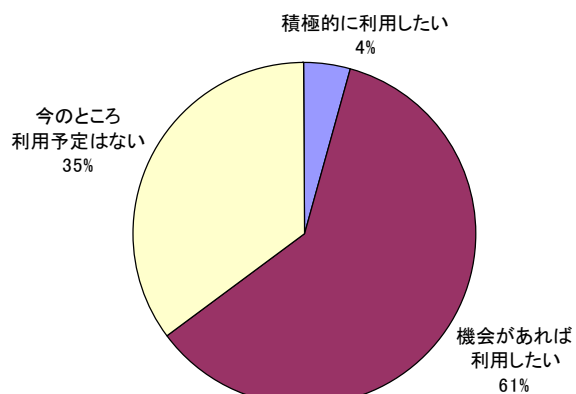
・今後のオーダーメイドセミナーの利用意向

今後のオーダーメイドセミナーの利用意向について、522件の回答が寄せられた。「積極的に利用したい」23件（4%）、「機会があれば利用したい」315件（61%）、「今のところ利用予定はない」184件（35%）であった。

オーダーメイドセミナーの認知度



オーダーメイドセミナーの利用意向



2-14 調査企業の情報

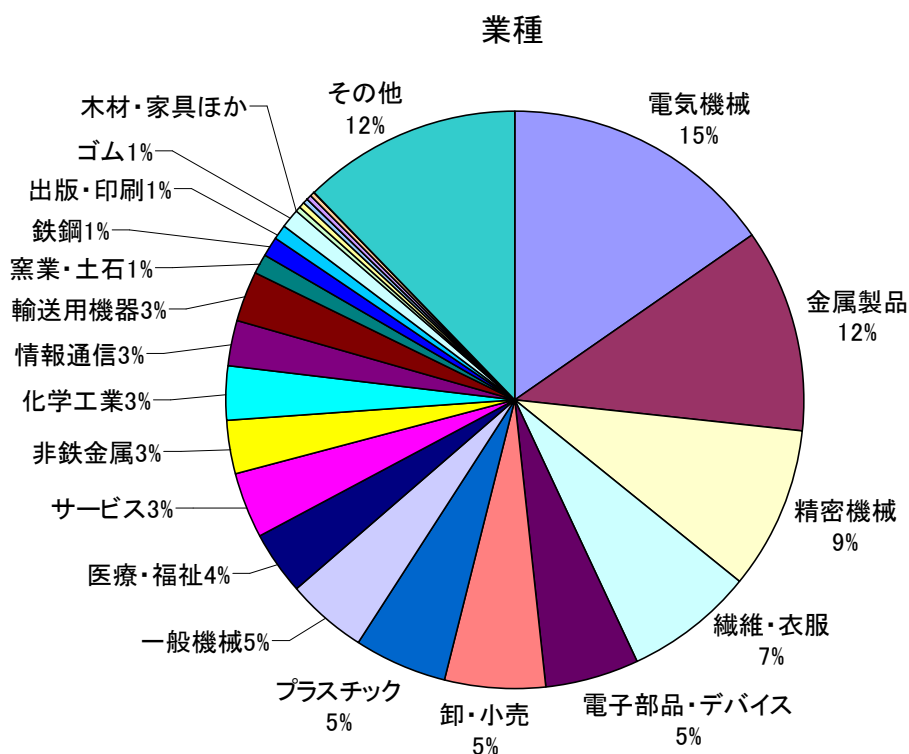
①業種

日本標準産業分類（平成14年総務省告示第139号）における「大分類F-製造業」の中の、食品・飲料、繊維・衣服、等の業種20種類、および、「大分類G-電気・ガス・水道」、「大分類I-運輸」、「大分類J-卸・小売」、「大分類N-医療・福祉」、「大分類P、Q-サービス」の業種5種類について調査し、553件*の回答が寄せられた。

企業の業種は、電気機械製造業84社（15%）、金属製品製造業64社（12%）、精密機械製造業50社（9%）、繊維・衣服製造業40社（7%）、電子部品・デバイス製造業30社（5%）となり、この5業種で268社（48%）と約半数を占めている。

※複数回答可のため、回答企業数543社に対して回答数は553件

昨年は、電気機器製造業（18%）、金属製品製造業（10%）、卸・小売業（9%）、精密機器製造業（8%）、繊維・衣服製造業（8%）の5業種でほぼ半数を占めたが、今年は卸・小売業に代わり電子部品・デバイス製造業が上位5業種であった。



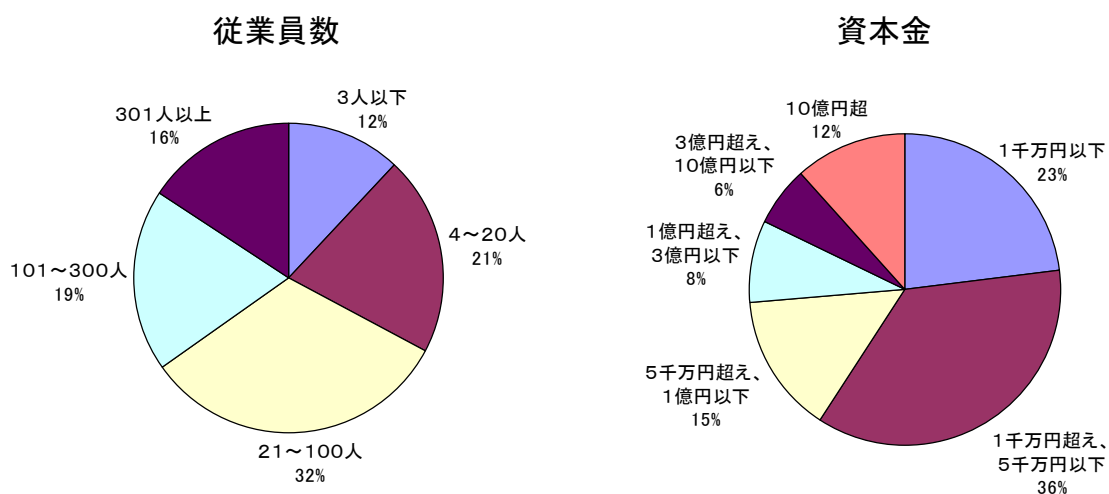
②従業員数

回答企業の規模については、従業員が「4～20人」110社（21%）、「21～100人」174社（32%）で全体の53%であった。

③資本金

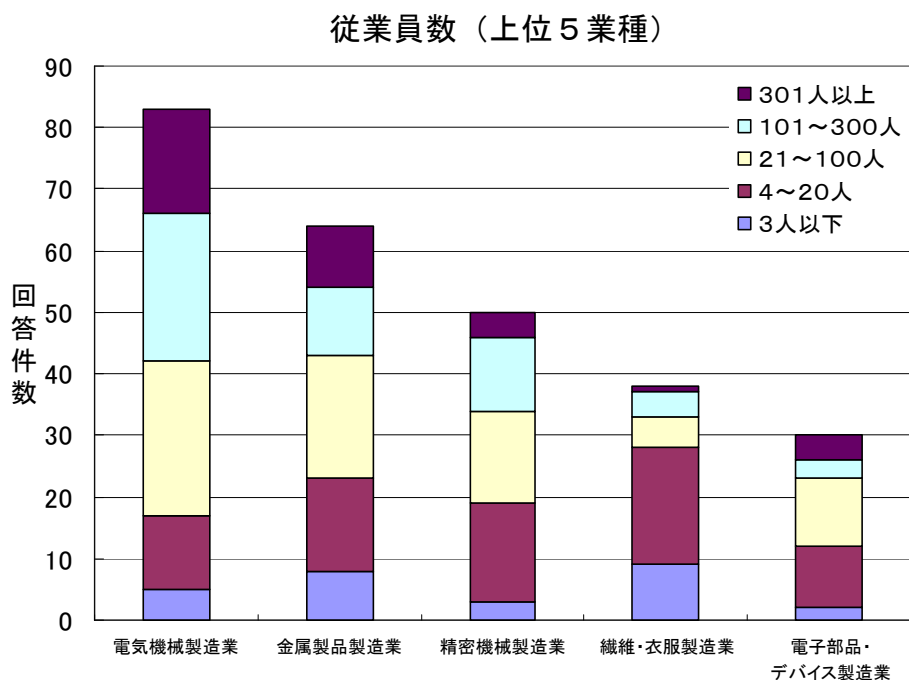
資本金では「1千万円以下」119社（23%）、「1千万円超え、5千万円以下」187社（36%）であった。

※回答企業数 543社に対して従業員数の回答数は 532件、資本金の回答数は 518件

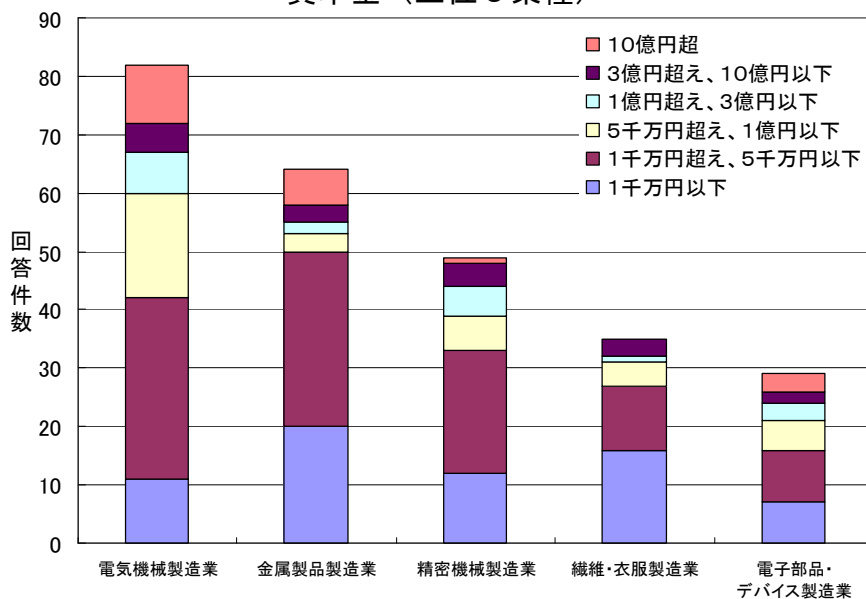


③上位5業種の従業員数と資本金

「電気機械製造業」、「金属製品製造業」、「精密機械製造業」については、101～300人規模の企業の割合が昨年よりも増えている。



資本金（上位5業種）



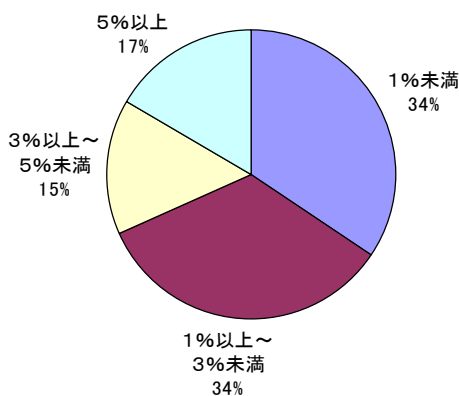
④売上高に占める研究開発費の割合

売上高に占める研究開発費の割合については、「1%未満」が167社（34%）、「1%～3%未満」165社（34%）で全体の68%であった。この傾向は昨年と同様である。

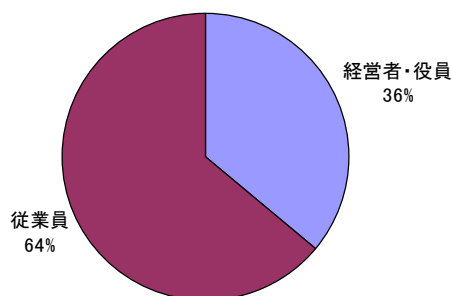
⑤回答者の役職

回答者の役職については、「経営者・役員」が191名（36%）、「従業員」が338名（64%）であった。「経営者・役員」の割合が、昨年は50%であったが本年は36%であった。

売上高に対する研究開発費の割合



回答者の役職



⑥1社あたりの売上高に占める平均研究開発費割合の試算

研究開発費「1%未満」を0.5%、「1%～3%未満」を2%、「3%～5%未満」を4%、「5%以上」を5%として計算する。（有効回答数は485社）

$$(0.5\% \times 167 \text{社} + 2\% \times 165 \text{社} + 4\% \times 72 \text{社} + 5\% \times 81 \text{社}) \div 485 \text{社} = 2.3\%$$

したがって、1社あたりの売上高に占める平均開発費割合は2.3%と推測される。昨年と同様であった。

3 今後の産技研の取り組み

産技研の利用に関する調査に、数多くのご意見・ご要望をいただきました。産技研ではこれらを、今後の課題として事業運営に反映していきたいと考えております。また、ご意見・ご要望の中にはすでに実施されているもの、利用可能なもの等もあり、これらは産技研からのPRが充分ではなかったと反省し、広報活動を強化してまいります。

主なご意見・ご要望に対し、産技研の取り組みをまとめましたので、報告致します。

①産技研に支援を希望する分野について

支援を希望する技術分野は、環境、エレクトロニクス、ナノテクノロジー、デザインの順で回答が寄せられました。

【回答】

・環境分野への取り組み

産技研では、環境分野への取り組みとして、平成18年度に「都市の安全・安心を支える環境浄化技術開発」を立案、(独)科学技術振興機構(JST)の「地域結集型研究開発プログラム」に提案し、採択されました。期間は5年間、総予算は24億円です。本プロジェクトの進行状況や成果は産技研のホームページで公開しています。

また、平成19年度には、西が丘本部に「環境試験センター」を新設しました。環境試験機器を整備し、製品の環境試験に関する信頼性向上にむけた支援を行っています。積極的なご利用をお願い致します。

・エレクトロニクス分野への取り組み

エレクトロニクス分野では、電気・電子製品のものづくりを総合的に支援するため、①電気・電子回路の設計やプリント基板等による試作、②性能評価として、EMC関連を含む各種の電気的特性試験やガス腐食を含む各種の環境試験、③超微細加工を活用したMEMS技術の応用、等を実施し製品開発や品質の向上に取り組んでいます。今年度からは、最近の相談や試験依頼が増加している製品の不良分析に対応するため、④IC開封器や赤外線顕微鏡を活用した故障診断の研究を開始しました。

これらの技術を総合的に活用することにより、設計から製造、試験に至る一連の相談・依頼への対応が可能となり、より信頼性の高い「ものづくり」を積極的に支援していきます。

・ナノテクノロジー分野への取り組み

平成17年2月、城南支所にナノテクノロジーセンターを開設し、必要な機器(電子線描画装置、ドライエッチャ、収束イオンビーム装置など)を設置し、ナノテクノロジー全般に関する企業からの技術的な相談や、新産業創出や新製品開発に関する研究を、企業、大学等と産学公連携で行っています。

また、ナノ材料や加工、評価などナノテク分野の基盤技術研究開発を平成 18 年度に 10 テーマ実施し、ものづくり産業を支援する取り組みを強化しています。

- ・デザイン分野への取り組み

産技研では、中小企業の製品開発支援の一環として、平成 18 年 9 月、西が丘本部に「デザインセンター」を開設し、グラフィックデザインや 3 次元 CAD/CAE、高速試作をできる施設や機器を整備しました。今年度も機器整備を実施し、総合的な製品開発の支援を行っていきます。デザインセンターで実施している詳しい事業内容については、産技研 HP をご覧下さい。

②産技研が改善すべき点について

改善すべき点について、依頼試験の迅速化、技術相談の充実、試験機器・内容の充実、セミナー・講習会の充実の順で回答が寄せられました。

【回答】

- ・依頼試験の迅速化及び試験機器・内容の充実

平成 18 年度に、試験機器の充実を図るため、44 機種 of 機器の更新（一部新規購入）を実施しました。最新機器を導入することで、計測時間等の短縮化を図り、依頼試験の迅速化を進めていきます。

また、平成 18 年度から、JIS 等の規格外の試験でも、利用者の要望に応じて試験を実施するオーダーメイド試験を開始しました。

- ・技術相談の充実

産技研では、東京都の幅広い産業技術分野に対応するため、専門知識を有する職員を最適な部署に配置し、中小企業の支援を行っていますが、より詳細な専門分野になりますと、利用者のニーズとマッチングしない分野もあります。これらの要望に対応するため、平成 18 年度にコラボ産学官やオムニ TLO などの機関と協定を締結し、相互連携を行える体制を整備しました。

また、都、神奈川県、埼玉県、千葉県 of 公設試験研究機関と連携し立ち上げている首都圏テクノナレッジ・フリーウェイを活用して、各機関の機器設備状況や技術情報を HP 上で検索ができる仕組みを強化し、利用者へのワンストップサービスの充実を図っていきます。

- ・セミナー・講習会の充実

産技研では、技術動向や関連法令の変更、さらには各セミナー・講習会後の利用者アンケートなどに基づき、毎年、内容見直しを行っていません。また、今回、寄せられたご意見を検討し、事業に反映していきます。

セミナーの新しい事業として、平成 18 年度より、個別の企業、団体等の要望に応じ

て内容・規模を編成するオーダーメイドセミナーを開始しました。社員研修などに最適
ですので、ご利用ください。

③職員の対応について

「不親切だ」、「役所的」、「サービス精神が不足している」、「対応が悪い」などのご
意見が寄せられました。

【回答】

寄せられたご意見を職員へ周知させました。また、職員研修などを通じて、産技研
職員としての資質向上と親切な対応を図ります。

^I <input type="checkbox"/> 販売の促進	1	2	3	4	^J <input type="checkbox"/> 取引先への信頼の向上	1	2	3	4
^K <input type="checkbox"/> 製造コストの低減	1	2	3	4	^L <input type="checkbox"/> 環境対策	1	2	3	4
^M <input type="checkbox"/> 省資源・省エネルギー対策	1	2	3	4	^N <input type="checkbox"/> 新技術分野への進出	1	2	3	4

上記の設問で成果が「3:わずかしか達成できなかった」「4:達成できなかった」とお答えの方は、その理由や内容をお教えてください。

[]

- ④ 産技研のご利用により、あなたの会社が得られたと思われるメリットを金額に換算すると、次のいずれに相当しますか。
 (金額に換算するのは容易ではないと思いますが、例えばこのくらい売上高が増加した、生産性が向上した、コストの削減につながった、損失を回避できたなど、産技研を利用されなかった場合と比較して推定してください。)

^A <input type="checkbox"/> 50万円以下	^B <input type="checkbox"/> 50万～100万円程度	^C <input type="checkbox"/> 100万～300万円程度
^D <input type="checkbox"/> 300万～500万円程度	^E <input type="checkbox"/> 500万～1,000万円程度	^F <input type="checkbox"/> 1,000万～3,000万円程度
^G <input type="checkbox"/> 3,000万～5,000万円程度	^H <input type="checkbox"/> 5,000万～1億円程度	
^I <input type="checkbox"/> 1億円以上 (おおよその金額をご記入ください:)		億円くらい)

- ⑤ 上記④でお答えいただいたメリットは主にどの事業によるものですか。(複数回答可)

^A <input type="checkbox"/> 技術相談	^B <input type="checkbox"/> 依頼試験	^C <input type="checkbox"/> 開放機器の使用
^D <input type="checkbox"/> 工場訪問(実地支援)	^E <input type="checkbox"/> アドバイザー事業	^F <input type="checkbox"/> 企業と産技研の共同研究
^G <input type="checkbox"/> コーディネート事業	^H <input type="checkbox"/> 産学公連携共同研究	^I <input type="checkbox"/> 異業種交流活動
^J <input type="checkbox"/> 研究発表会	^K <input type="checkbox"/> セミナー・講習会	^L <input type="checkbox"/> 技術研究会
^M <input type="checkbox"/> その他 ()		

- ⑥ 産技研ご利用時の片道所要時間と交通手段は次のうちどれですか。
 また、最も利用される産技研の事業所はどちらですか。

○片道所要時間

^A <input type="checkbox"/> 30分以内	^B <input type="checkbox"/> 1時間以内	^C <input type="checkbox"/> 2時間以内
^D <input type="checkbox"/> 4時間以内	^E <input type="checkbox"/> その他(時間程度)	

○交通手段

^A <input type="checkbox"/> 公共交通機関(電車・バス・タクシー等)	^B <input type="checkbox"/> 自家用車・社用車
---	--

○最も利用する事業所

^A <input type="checkbox"/> 西が丘本部	^B <input type="checkbox"/> 城東支所	^C <input type="checkbox"/> 墨田支所	^D <input type="checkbox"/> 城南支所
^E <input type="checkbox"/> 駒沢支所	^F <input type="checkbox"/> 多摩支所	^G <input type="checkbox"/> 八王子支所	

- ⑦ 産技研ご利用時の職員の対応はいかがでしたか。

^A <input type="checkbox"/> 満足	^B <input type="checkbox"/> やや満足	^D <input type="checkbox"/> やや不満	^E <input type="checkbox"/> 不満
--	--	--	--

- ↓
 ⑧ 上記⑦の質問で不満、やや不満の具体的内容をお聞かせ下さい。

[]

2 今後の産技研のご利用についてお伺いします。

① 今後も産技研をご利用いただけますか。

<input type="checkbox"/> A 積極的に利用したい	<input type="checkbox"/> B 必要のある時に利用したい	<input type="checkbox"/> C 今のところ利用予定はない
--------------------------------------	---	---

② 上記①の質問で「 A 積極的に利用したい」「 B 必要のある時に利用したい」とお答えの方にお伺いします。今後ご利用を希望する事業はどの事業ですか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> A 技術相談	<input type="checkbox"/> B 依頼試験	<input type="checkbox"/> C 開放機器の使用
<input type="checkbox"/> D 工場訪問(実地支援)	<input type="checkbox"/> E アドバイザー事業	<input type="checkbox"/> F 企業と産技研の共同研究
<input type="checkbox"/> G コーディネート事業	<input type="checkbox"/> H 産学公連携共同研究	<input type="checkbox"/> I 異業種交流活動
<input type="checkbox"/> J 研究発表会	<input type="checkbox"/> K セミナー・講習会	<input type="checkbox"/> L 技術研究会
<input type="checkbox"/> M その他 ()		

3 産技研に対するご要望をお伺いします。

① 今後、あなたの会社が産技研の技術支援を得て取り組みたいとお考えの技術分野は何ですか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> A ナノテクノロジー(微細技術)	<input type="checkbox"/> B IT(情報通信関連)	<input type="checkbox"/> C エレクトロニクス
<input type="checkbox"/> D デザイン	<input type="checkbox"/> E 環境	<input type="checkbox"/> F バイオテクノロジー
<input type="checkbox"/> G 少子・高齢化	<input type="checkbox"/> H 健康・福祉	<input type="checkbox"/> I 航空機・宇宙
<input type="checkbox"/> J ロボット	<input type="checkbox"/> K 食の安全	<input type="checkbox"/> L コンテンツ
<input type="checkbox"/> M ファッション	<input type="checkbox"/> N エネルギー	<input type="checkbox"/> O その他 ()

② 産技研に新たに行ってほしい事業があれば、その内容をお聞かせ下さい。

[]

③ 産技研が、皆様のお役に立つために、改善すべき点のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

<input type="checkbox"/> A 技術相談の充実	<input type="checkbox"/> B 依頼試験の迅速化	
<input type="checkbox"/> C 依頼試験機器・内容の充実(機器名、試験内容:)		
<input type="checkbox"/> D 開放機器の充実(機器名:)		
<input type="checkbox"/> E 技術分野の充実(分野内容:)		
<input type="checkbox"/> F セミナー・講習会の充実	<input type="checkbox"/> G 広報の充実	<input type="checkbox"/> H 研究員の充実
<input type="checkbox"/> I 手続きの簡素化	<input type="checkbox"/> J 利用時間の拡大	
<input type="checkbox"/> K その他 ()		

④ 上記③についての具体的な内容が有ればお聞かせ下さい。

[]

4 産技研の情報提供についてお伺いします。

① 産技研のホームページ(<http://www.iri-tokyo.jp/>)をご覧になったことがありますか。

^A よく見ている ^B ときどき見る ^C 見たことがない

② 産技研のホームページに関するご意見、ご要望、ご感想をお聞かせください。

[]

5 本年度、産技研は独立行政法人化に伴い、より一層、皆様にご利用いただくために、以下の取組みを行いました。

(1) 依頼試験等料金の支払い方法について

① 本年度から銀行振込とコンビニでの支払いをはじめました。ご存知でしたか？

^A 知っていた ^B 知らなかった

② 銀行振込、コンビニでの支払いをご利用いただけましたか？

^A 利用した ^B 利用していない

③ 今後、ご利用されるご予定はありますか？

^A 積極的に利用したい ^B 必要のある時に利用したい ^C 今のところ利用予定はない

④ 今後、産技研では皆様がより便利にご利用いただけるよう努めてまいります。その他、料金の支払い方法でご要望がございましたら、ご記入ください。

[]

(2) 確定払いについて

① 試験の内容が確定できない(試験品に含まれる不純物の特定等)などの理由により、試験の受付時に料金が不明なときは「確定払い」を行っています。ご利用になりましたか？

^A 利用した ^B 利用していない

(3) オーダーメイド試験・セミナーについて

① 産技研では、今年度よりオーダーメイド試験[※]をはじめました。ご存知でしたか？
※) 定められた試験項目では対応できない試験及び複雑な試験に柔軟に対応する試験

^A 知っていた ^B 知らなかった

② 今後、ご利用されるご予定はありますか？

^A 積極的に利用したい ^B 必要のある時に利用したい ^C 今のところ利用予定はない

- ③ 産技研では、今年度よりオーダーメイド研修[※]をはじめました。ご存知でしたか？
 ※) 個別の企業、団体等の要望に応じて内容・規模をご相談の上、決定し実施する研修

<input type="checkbox"/> ^A 知っていた	<input type="checkbox"/> ^B 知らなかった
---	--

- ④ 今後、ご利用されるご予定はありますか？また、どのような研修をご希望ですか？

<input type="checkbox"/> ^A 積極的に利用したい	<input type="checkbox"/> ^B 必要のある時に利用したい	<input type="checkbox"/> ^C 今のところ利用予定はない
---	--	--

希望される研修内容

[]

6 あなたの会社についてお伺いします。

- ① 業種をお答えください。

<input type="checkbox"/> ^A 食品・飲料	<input type="checkbox"/> ^B 繊維・衣服	<input type="checkbox"/> ^C 木材・家具	<input type="checkbox"/> ^D 紙・パルプ	<input type="checkbox"/> ^E 出版・印刷
<input type="checkbox"/> ^F 化学工業	<input type="checkbox"/> ^G 石油・石油	<input type="checkbox"/> ^H プラスチック	<input type="checkbox"/> ^I ゴム	<input type="checkbox"/> ^J 皮革・毛皮
<input type="checkbox"/> ^K 窯業・土石	<input type="checkbox"/> ^L 鉄鋼	<input type="checkbox"/> ^M 非鉄金属	<input type="checkbox"/> ^N 金属製品	<input type="checkbox"/> ^O 一般機械
<input type="checkbox"/> ^P 電気機械	<input type="checkbox"/> ^Q 情報通信	<input type="checkbox"/> ^R 電子部品・デバイス	<input type="checkbox"/> ^S 輸送用機器	<input type="checkbox"/> ^T 精密機械
<input type="checkbox"/> ^U 電気・ガス・水道	<input type="checkbox"/> ^V 運輸	<input type="checkbox"/> ^W 卸・小売	<input type="checkbox"/> ^X 医療・福祉	<input type="checkbox"/> ^Y サービス
<input type="checkbox"/> ^Z その他 ()				

- ② 従業員数をお答えください。

<input type="checkbox"/> ^A 3人以下	<input type="checkbox"/> ^B 4～20人	<input type="checkbox"/> ^C 21～100人	<input type="checkbox"/> ^D 101～300人	<input type="checkbox"/> ^E 301人以上
--	---	---	--	--

- ③ 資本金をお答え下さい。

<input type="checkbox"/> ^A 1千万円以下	<input type="checkbox"/> ^B 1千万円超え、5千万円以下	<input type="checkbox"/> ^C 5千万円超え、1億円以下
<input type="checkbox"/> ^D 1億円超え、3億円以下	<input type="checkbox"/> ^E 3億円超え、10億円以下	<input type="checkbox"/> ^F 10億円超

- ④ 売上高に対する研究開発費の割合はどのくらいですか。

<input type="checkbox"/> ^A 1%未満	<input type="checkbox"/> ^B 1%以上～3%未満	<input type="checkbox"/> ^C 3%以上～5%未満	<input type="checkbox"/> ^D 5%以上
--	---	---	--

- ⑤ ご回答されている方の役職をお答えください。

<input type="checkbox"/> ^A 経営者・役員	<input type="checkbox"/> ^B 従業員
--	---

ありがとうございました。